



# ハイノキ [灰の木]

常緑 / 中高木 / 木本植物 / 在来種



**科名** ハイノキ科 (APGⅢ)

**特記** 生長：やや遅い

枝の先々に咲く小さな白い花と淡い緑の葉のコントラストが美しい。葉も比較的小さく、小庭園の配植に向いている。西日本ではモミヤツガなど針葉樹の生育する林の中で、屋久島では大きなスギの下で生育している。陰樹と呼ばれ、このような日陰の環境が生育の条件になる。



葉



花



花



実

## Memo

ハイノキ科の植物は、アルミニウムを含むことから灰にして媒染剤に使われた。樹名も'灰'に由来。

お手入れカレンダー	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
🌸	花期				■								
🍒	果実									■			
🍁	紅葉												
🌱	施肥	■ (痩せ地でなければ不要)											
✂️	剪定	■											■

好みの環境				
日当たり	陽	×	○	陰
土壌	乾		○	湿
寒さ	強		○	弱
暑さ	強	○		弱
潮風	強		○	弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
	○	○					

**ポイント** 陰樹のため、日当たりが良い場所では、葉が黄変し落葉しやすい。根の張り方が浅いため、マルチング材などで覆うとよい。元々自生のない東日本では、環境が合わず衰退しやすい。

**剪定** 生長が遅いので、剪定は最小限にする。前年枝の先に花をつけるため、刈り込むと花付が悪くなる。枝抜き剪定にて樹姿を整えるとよい。

**病虫害** 病虫害は少ない。